



Nursing (MitLeben) Skin Care

リノール酸・ビタミン E 含有弱酸性ナノエマルジョン (ノン合成界面活性剤)

「皮膚は、生きているから。無理しないで。」



綺麗な肌を「作る」ことに疲れていませんか？ 皮膚は、排泄し、保護し、自ら再生する「生命体」です。Skin Care とは 誰かが外から一方的に手を加える、作り変える作業ではなく、肌自身が内側から育んでいくプロセスを支える作業です。

私たちが目指すのは、成分による支配（抑え込む）ではなく、肌が持つ「自活力」を信じて、そっと寄り添い、自活力の回復を待つこと。

それが、Nursing (MitLeben) Skin Care です。

無理をさせないケアが、これから先のあなたを支えます。これから先もずっと、健やかな肌と共に。

Nursing (MitLeben) Skin Care



臓器としての再認識

皮膚は、単なる「包み」ではありません。自らを維持し、複製し、再生し続ける、もっとも雄弁な「臓器」です。

Kai-Shin-Sui: PhytonLeben（生体バリアの修復）

リノール酸とビタミン E を内包した「弱酸性ナノエマルジョン」。合成界面活性剤に頼らず、成分が自発的にナノ構造を作る「自己組織化技術」を採用しました。それは、肌が本来持つバリア環境に寄り添い、自活力を引き出すための、静かなテクノロジーです。

Nursing Logic（生命論理）

私たちは「症状の支配（抑え込む）」ではなく、自活力の回復を待つ「療養」を選択します。皮膚が持つ「排泄・保護・再生」のサイクルを妨げないこと。生物学的な原点に立ち返り、肌が自律的に動ける生体バリア環境を整える。それが Nursing（自活力の回復を待つ「療養」）という視点です。

洗顔後の肌の変化

「何を与えるか」の前に、肌の声を聴く時間を。

MitLeben（共生の実践）

高機能成分で肌の症状をコントロールする（抑え込む）のを、一度手放してみませんか。私たちの提案する「作法（Skin Care）」は、肌の再生力を信じて「回復力待つ」という体験です。

ナイトケア洗顔後、3分間だけ、自分の肌をじっと観察してみる
突っ張り、潤い、体温。指先が触れるその感覚は、あなたの生命が発信している「今」の記録です。外側から症状を支配（抑え込む）するのではなく、内なる生命と対話し、共生（生体バリアを修復整え、自活力を引き出す）すること。それが、MitLeben（ミットレーベン）の真髄です。